

# 創造

JA いけだ  
CREATION

今月号の表紙写真は、  
昭栄地区での小麦の刈取  
作業の様子です。



## CONTENTS

- \* 取引先訪問
- \* しょくいこつうしん
- \* 21NEWS アラカルト
- \* 金融共済課より
- \* 生産資材課より
- \* 指導チーム通信
- \* 畜産部通信
- \* JAカレッジ
- \* 理事会の動き
- \* 編集後記

2012.

8  
AUGUST

No.032

# 根張星 取引先訪問

長芋部会 部会長 榎 澤 達 也

6月末に農産課の永田課長、㈱ワタリ札幌営業所の三上課長と共に根張星の取引先を訪問してきました。

最初に和歌山県を中心に171店舗展開しているオークワのメッサオークワガーデンパークを視察しました。基幹店らしく内装や取り扱っている商品も高級感があり今後の販売が楽しみな所です。

2カ所目は高松を中心に展開しているマルヨシセンターを訪問しました。会社の方針として品質に拘ったものを提供するという事で、私達の根張星が大変美味しいと評価を頂きました。ここでは「チェアマンズセレクト」という認定制度があり、根張星は青果物で3品しかないこの制度の認定を受けており、生産者として大変嬉しく、より一層期待に応えなければならないと感じました。

3カ所目は根張星を最初から販売して頂いている、イカリスーパーを訪問しました。ここでは、今年の2月に店頭試食販売をしていることもあり、お客様にも浸透してきたようです。しかし販売から3年目になる今も、通年販売できるだけの供給ができないことにお叱りを受けましたし、小さなサイズの方が粘りがたりない、カット販売で首の部分が売れ残り変色も早い等の意見が出され、これらの問題に産地として検討しお互い良い販売が出来るように、と話をしてきました。

この後店舗を視察しました。根張星を手にとって見ましたが、少し尻部の丸みが足りないように感じ、粘りが弱いのでは？と不安を感じました。

それにしても、お客様の半数が高級外車で来店されているのには驚きました。

最後に富山県のアルピスを訪問しました。ここも量が少なく、通年販売できないことに不満があるようですが、正月向けの新たな販促のアイデアも頂き、大きな期待を持つことができました。

ただ、最初に上層部を交えた試食会の中で、川西産の長芋と違いが分かりづらいとの意見もあったようで、最終的に販売を後押ししたのは、㈱ワタリの作成した販促資材の充実が決め手になったということでした。今は高評価ですが、知らない所で危うい場面があったことにショックを受けました。



今回の訪問を通して、私達産地の人間が取り組むべき課題は沢山あると感じました。どこのお店も価格は高くても美味しい物を買っていきたくて考えています。やっと味本位で認められる作物と取引先に出会うことができましたので美味しさに拘った作り方をしていかなければ産地としての成功はないと思われま

今年度産の品質に懸かる期待は大変大きいものになります。部会が気持ちを1つにしてレベルアップを目指し、皆が、美味しいと言われ続ける根張星を作りましょう。



## 食用馬鈴薯生産組合・長芋部会合同取引先訪問 (有)菜匠・(株)ワタリ青果訪問

### 小松田 隆 明

7月11日(水)～13日(金)の日程で、取引先訪問に行ってきました。

最初に訪問した、栃木県小山市の(有)菜匠は、主に馬鈴薯、玉ねぎを取り扱っており、スーパーへ納品するパッケージ作業を見学させて頂きました。この時期は、長崎産、静岡産の馬鈴薯、佐賀産、淡路産の玉ねぎが使われており、今年購入したと言う、最新式のパッケージ機械を使い、1日およそ40,000袋、パートさんの手作業を含めると、1日およそ80,000袋のパッケージができると話されていました。工場内を(有)菜匠の高橋課長、丸岡課長に案内して頂き、尾村社長とも懇談。

夜は、(株)ヨークマートの山田バイヤーも加わり、懇談の時間がありました。山田バイヤーは、拘りを持って良い物を作る大切さをお話して下さり、「バイヤーが売ってみたい、お客さんに買ってほしい」と思うものを生産してほしいと言われました。

翌日はポテトチップスの工場(深川ファクトリー)を見学し、尾村社長から、大消費地の近くで選別、加工することで、多様なニーズに対応でき、輸送、包装のコスト削減にも繋がるとお話があり、池田の馬鈴薯も産地のコスト削減としてコンテナ(フレコン)出荷してはどうかとの提案がありました。安く販売しても、それ以上にコストを削減することで手取りを増やすという考え方です。

選別可能で、どんな規格も販売先を持つ(有)菜匠ならではの提案ですが、今後、生産者手取り向上につながることを目的に、検討する必要があると考えます。

### 山内 道 治

(有)菜匠、深川ファクトリー訪問の後、東京の(株)ワタリ青果を訪問してきました。

(株)ワタリ青果は「根張星」を扱っており、池田課長より根張星の販売の現状と好調さを説明して頂きました。(株)ワタリ青果としても、販促用のポスターやのぼり、チラシ等を制作し、全社一丸となって販売に力を入れてくれており、足りない状況が続いているということでした。また規格外品を加工した「冷凍のとろろ」を使用して、惣菜部門で販売しているお弁当は京王ストアの1日の販売記録を塗り替えるヒット商品になり、数量限定で販売されているという事でした。



生産者代表 棚澤夫妻  
JA 十勝池田町

続いて視察した京王ストア聖蹟桜ヶ丘店では、棚澤部会長夫妻のシールが貼られた根張星が山積みされており、一般の長芋より高価にもかかわらず、次々と売れていき大変嬉しく思いました。その日の夜は、(株)ワタリ青果の渡利社長、京王ストアの渡辺課長と懇談し、根張星への期待や思いを熱く語って頂きました。

今回の研修で「生産者・流通業者・量販店」との繋がり、特に人と人との繋がり大切さを知りました。生産者の思いを如何に消費者に近い彼らに伝えていくのか。それによってどれだけ熱意を持って自分たちの生産物を販売してもらえるかが決まる。私達にとって新たな課題と取組の必要性を認識した研修となりました。



今度こそおっきくなってね!



ホガマうまくなったでしょ?



今回参加の皆さんで記念撮影!



よ~し!い<ぞ~!!

## 第3回目作業を終えて

7月7日、3回目の食育事業が行われました。

参加者9名、青年部員14名が参加しました。

作業内容は、前回に続き大根の播種、そして作物の除草です。大根の播種は前回も行っているので慣れた様子で順調にこなしていました。スイートコーン・大豆・カボチャはホガマを使い株間・畝間を除草していきます。しかし、使い慣れていないので子供達は苦戦していました。

予定していた時間より早く終わり、子供たちが楽しみにしていたトラクター試乗を行いました。例年ならばコンバイン試乗となりますが、今年は都合が合わず、部員のトラクターとなりました。日頃、見る機会の少ないトラクターに子供達は楽しそうに乗っていました。

今回の作業を終えて、収穫にまた一歩近づきました。このまま残りの作業工程を順調にこなし、実りの収穫を迎えたいと思います。

(記事・青年部支部長 永原和敏)

## 青年部



## 女性交流会開催

青年部主催による、独身青年農業者と管内女性との交流会が7月14日（土）に行われ、男性10名・女性12名・スタッフとして青年部役員と事務局4名の参加により帯広のレストラン『pa lazzo vitto（パラッツォ ヴィット）』にて開催致しました。

今回は企画プロデュースをAR I Aさんに委託し、今までとは趣向を変えての交流会としました。開催日前々日には、水上部長がFM J A G Aに出演し、池田のPRと交流会の告知を行いました。

当日は司会者の進行のもと、水上部長の乾杯の挨拶にて開会し、数分ごとに席を移動しながら会話を楽しんでおりました。途中で『チーム対抗格付けチェック』にてネバリスター・いけだ牛など池田町にちなんだ物と類似物を見分けるミニゲームをし、特産品のPRをしながら交流を楽しんでおりました。最初のうちは皆さん緊張もしておりましたが、時間が経つにつれ盛り上がり、楽しい時間が過ごせたことと思います。

過去には交流会を機にお付き合いが始まり、ご結婚されたカップルもいらっしゃる事から、今後も新たにカップルが出来る事を願い、このような交流会の企画・運営をしていきたいと思っております。

参加者の皆様、スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。

（記事・青年部副部長 朝川知輝）

## 青年部

## 夏期研修会を開催

7月17日、青年部員23人と共に夏期研修会を行いました。

農協本所前に集合し、乗り合わせで研修先である芽室町の北海道農業研究センターに向かいました。

研修先ではまず、座学でビートがどこで生まれたどんな植物であるのかなどを学びました。それからビートの情勢や病気、現在開発中の新品種の特性を学びました。次に小麦についてもビートと同様に、情勢や新品種について学びました。

座学が終了すると試験圃場に移動し、小麦やビートの試験中の新品種や様々な管理試験を行っている圃場を見学しました。色々な品種の小麦やビートをみせていただく事が出来ました。また、様々な管理条件の基で栽培されているため、生育差が若干見られる所もありました。様々な環境の中で生育できるよう管理試験が行われていました。

小麦の試験圃場では、研修前に強い雨が続いた影響で、ほとんどの小麦が倒れてしまっていたのは残念でしたが、管理別の生育差などを見ることが出来ました。

研修後、帯広の「食彩酒房たけとんぼ」で懇親会が行われ、皆で酒を飲み交わし楽しい時間を過ごしました。

様々なことを知ることができたとても有意義な一日となりました。

（記事・青年部員 石川道雄）



年金友の会

## 親睦研修旅行

年金友の会では、去る7月11日～13日で、層雲温泉・朝里川温泉泊による旭川・小樽方面の旅を実施しました。会員39名参加でバス2台に分乗し朝8時に出発しました。

丘のまち美瑛町の展望花畑「四季彩の丘」はちょうどラベンダー・サルビアの花盛りでした。「拓真館」は前田真三氏によるフォトギャラリー、「北海道伝統美術工芸村」は、工芸館・国際染織美術館・雪の美術館の3館を見てまいりました。「井上靖記念館」では、井上靖氏の生誕から逝去まで旭川への思いを綴った直筆ノートをはじめ、数々の名作を生み出した書斎が東京・世田谷の旧井上靖邸から移転され再現されているのを見学してまいりました。

翌日は、生憎の雨と視界不良により黒岳ロープウェイを取りやめ、「旭山動物園」へと向かい、北極クマ館・空飛ぶペンギン館・アザラシ館は矢張り人気があり混み合っていました。宴会では会食をしながらビンゴゲームなどで盛り上がり、たのしいひと時を過ごしてまいりました。

最終日にはサクランボ狩りを行い、仁木町「チェリーハントオオクボ」は180aに800本の佐藤錦・水門他ブルーも栽培しておりました。「旧下ヨイチ運上家」は江戸時代松前藩のアイヌ民族との取引を請け負った商人が経営の拠点とした現存する唯一の運上家で切妻の建物の中を案内していただきました。「ニッカウヰスキー」では、見学コースを案内していただき、製造工程やウヰスキーづくりに生涯を捧げた創業者竹鶴政孝邸などを順次見学してまいりました。

また、会員皆様の参加と協力により事故もなく、無事に親睦研修旅行を楽しく終えましたことと、一部内容のご紹介を含め報告とお礼を申し上げます。

(記事・営農部営農課 岩浪偉恭)



## JA職員が講師に

～利別小学校5年生総合学習で来所～

7月13日(金)利別小学校5学年の総合学習「池田の魅力再発見」というテーマで、5名の生徒が来所しました。

学習内容については、池田の農産物や畜産物についてということで講師役には、畜産部三好課長、農産部上田職員が対応しま

した。

来所した子供たちからは「牛の種類は何種類?」「日本には何種類の野菜があるの?」「一番人気の野菜は?」など様々な質問が出され講師も回答に悩む場面や、当JA組合員の子供達もおり「知ってる!知っている!」という場面もありました。

講師陣は、当初は慣れない様子で悪戦苦闘しながらも、徐々に子供たちの心を掴み、授業を思わせるやり取りとなりました。

JA職員が将来の農業者や消費者となる子供たちに、農業の素晴らしさの一端を少しでも伝える良い機会となったと思います。(記事・管理部長 大塚 節)





夕市の会・食品加工サークルむぎ畑

## いけだDEナイトに出店

第24回いけだDEナイトが7月27日（金）に大通り会場にて開催されました。当JAからは女性部夕市の会・女性部食品加工サークルむぎ畑が出店致しました。店頭にはトウモロコシや切り花などの即売が行われ、むぎ畑では、芋団子やかりんとう等を販売致しました。当日はと

ても暑い中での販売でしたが沢山のお客様が訪れ、新鮮な採れたて野菜や手作りの加工品に見入ってらっしゃいました。

参加頂いた会員の皆様大変お疲れ様でした。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

酪農振興会

## 婦人研修

7月24・25日にかけて酪農振興会婦人研修が行われました。

札幌と小樽へ向かい、89年振りとなる木下サーカス札幌公演は大勢の観客で会場を賑わせ、空中アクロバットでは冷や冷やしながら興奮し、ライオンやキリン・ゾウの可愛らしく迫力のあるパフォーマンスを見て楽しみました。小樽運河ではガラス工芸やアクセサリーなどを見て回りましたが、まだまだ見足りなく予定を引き延ばし、たくさんのお土産を両手に抱えバスに戻りました。

買い物も食事もとても満喫し心もリフレッシュされ、帰って搾乳に励んだことでしょう。

今年も雨の予報だったのですが、また天気にも恵まれ、無事に終えることが出来たことをご報告致します。

（記事・畜産部畜産課 豊原英梨）



営農部

## フレッシュ農業人を励ますつどい

本年度新たに就農されました3人を招いた『フレッシュ農業人を励ますつどい』が7月19日（木）に清見の青翔亭で開かれ、池田町及び2農協、関係機関の代表者の方々が出席し、新規就農の門出を祝いました。

今年は、当JAでは青山地区の横山将一さん（29歳）、清見地区の多田隆弥さん（21歳）の2名、JA十勝高島では森江修一郎さん（24歳）の1名、合計3名の方々が新規就農致しました。

それぞれの方に記念品の贈呈が行われ、祝宴の中では各関係機関や各部の代表の方々から、自身の体験談を含めた新規就農者への激励のメッセージがあり、新規就農者の皆さんも諸先輩方からのアドバイスに真剣に聞き入っていました。

（記事・営農部営農課長 長井 勉）





## 施設課

## H24年産農産物 「豊穰・安全操業祈願祭」実施

去る、7月17日（火）農産部施設課農産センター内H13工場において「農産物の豊穰・安全操業祈願祭」を執り行いました（写真）。農作物の豊穰と収穫・調整作業のため当日は組合長を始めとし総勢30名にて祈願しました。

農産センターでは安全作業を実施するに当たり安全衛生講習会の開催や朝礼、安全スローガンの垂れ幕も掲げ5S運動にも重点を置いて作業に当たり0災害を継続してまいります。今後は農産物の受入が真最中となりますので搬入する組合員の皆様も構内での安全走行・安全作業にご協力お願い致します。

（記事・農産部施設課課長 松久 充）

## 施設課

## 小麦3集団新型コンバイン導入

コンバインの運営も払下後2年目となり各集団も適期に刈取出来るよう更新や増車をしております。

7月14日は日も良く3集団（豊田・川合第2・千代田）に新型コンバインが納車され、それぞれ入魂式が行われました。（写真/千代田集団）

当日は集団役員・オペレーター・集団の生産者及び関係者が参加し入魂式及び小麦の豊穰と収穫作業の安全を祈願致しました。

本記事も掲載される頃には、小麦収穫の終盤を迎え新型コンバインが活躍している事でしょう。

（記事・農産部次長 山内 守）



模擬消火器を使った消火訓練

## 平成24年度 火災避難訓練 ～Aコープ利別店・池田支所で実施～

JAでは、職員一人一人が防災意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練及び消火訓練、更に、救命救急講習会を昨年より実施しております。

今回、7月17日（火）にAコープ利別店、7月20日（金）には池田支所で避難訓練を実施し、いずれも火災発生を想定し、火災報知機発報から、火災発生確認・初期消火、消防への通報、屋外避難誘導までの訓練を行いました。

避難訓練終了後には、池田消防署より今回の訓練に対する指導と、模擬消火器による消火訓練を行いました。

（記事・管理部長 大塚 節）

## 金融共済課より

# JAカード《一体型》のお知らせ より安全、お得、便利に

## より安全に

JAカード（一体型）は、ICキャッシュカード機能とクレジットカード機能が1枚になった便利なJAカード。キャッシュカード・クレジットカードともにICチップでの取引に対応。より安全な1枚です。



## よりお得、より便利に

ICキャッシュカード機能とクレジットカード機能が1枚になり便利になりました。

「JAならでは」の特典を始めとしたお得なサービスがJAカード（一体型）にも満載です。



\* 次の(1)(2)(3)のいずれかに該当すれば、次年度年会費も無料。（ゴールドカードは除く）

- (1) 年間12万円以上のカードショッピング利用
- (2) 電気料金のJAカード支払い
- (3) 携帯電話料金のJAカード支払い

\* 初年度年会費無料。（ゴールドカード除く）

\* 海外旅行傷害保険が自動的に付帯されます。

\* ショッピングパートナー保険（カードで購入した商品の破損・盗難時の保険）が付きます。

## ETCカードのご案内

ETCは、高速道路の料金所をスムーズにキャッシュレスでご利用いただける快適で環境にもやさしい新しいシステムです。

お申し込み頂いた方には、JAカードとは別に年会費無料でETCカードをご提供いたします。



お申し込み・お問い合わせにつきましては、本所金融共済課・池田支所まで

## 生産資材課より

来年度用春肥料早期予約取りまとめ実施中！

## 早めのお申し込みをよろしくお願ひします!!

いつも生産資材課事業の運営にご協力頂き、誠にありがとうございます。

今年度の肥料価格につきましては、窒素が値上りし、リン酸で燐安、高度燐特号が値下げ、過石は値上りします。カリで塩加、サルポマグが値上げ、硫加は若干値下げとなります。リン酸分が多い肥料は昨年度よりも値下げとなりますが、逆にリン酸分の少ない肥料は若干、値上げとなります。ホクレン加重平均価格で昨年度と比較すると0.64%値下げとなりました。

早期予約申込みを利用することにより、予約引取奨励制度の対象となります。12月までに引取りされた方が有利ですが、来春の引き取りでも奨励金の対象となります。

また、ホクレンから対策費（今年度のみ）が拠出され、小麦肥料に引き続き奨励金を増額致しました！ぜひ、JAをご利用願ひます。

## 1. 早期予約引取奨励

①対象肥料 系統の化成肥料、BB肥料

②奨励措置 **50円+20円/20kgにつき（単肥は10円）**

※8月末日までの予約にて申し込まれた系統肥料で、平成25年6月末日までに引き取りされた数量に対して奨励します。

**早期予約第1回目申込期日：平成24年8月31日**

※第2回目申込期日11月30日、この場合は上記奨励金単価が30円/20kgとなります。

## 2. フレコンバック奨励

①対象肥料 上記の肥料で400kg・500kgフレコンバック

②奨励措置 **20円/20kgにつき**

※早期予約で申し込まれた系統肥料のうち、平成24年9月末までに引き取りされたフレコンバックに対して奨励します。

## 3. 限月格差特別奨励

肥料価格は四半期毎に分かれており、肥料年度の始まる6～9月が安く、翌年の4～5月が最も高くなっています。当JAでは6～12月までのお引き取りに対しては、最も安い6～9月の価格でお渡しする特別奨励を実施しています。

<例> BBS662の引き取り価格（税別）

	6～9月	10～12月	1～3月	4～5月(当用期)
<通常の価格>	1,725円	1,755円	1,780円	1,805円
<農協奨励価格>	1,725円	1,780円	1,780円	1,805円

**奨励金を上手に利用しましょう!!**

**早期予約奨励 50円+20円 + フレコンバック奨励 20円 + 限月格差 80円 = 170円**

早期予約をしてフレコンバックで9月末までに引き取りを行った場合は、当用期20kg袋引き取った場合と比べて1袋当たり170円も安くなり大変お得となります。

○クミカン引落時期：平成25年6月20日

○奨励金戻し時期：平成25年11月末頃

# 指導チーム通信

## ▶ 7月の指導チーム活動状況

### ① ビート肥料試験について

ビートの肥料試験は肥料コスト低減の為、土壌診断から圃場にあった減肥銘柄を選定し、効果を確認する試験です。減肥銘柄を使用している試験区と慣行区を比較して収量差が無い結果となれば、肥料コスト低減となり、減肥銘柄の効果が確認されます。

7月4日に実施した第1回目の調査では、葉数と草丈を測定いたしました。生育差は殆ど無く、順調な結果と言えます。ただし、昨年の生育と比較すると全体的に遅れ気味の結果となりました。

第2回目の調査は9月に実施し、調査項目は葉数、草丈、根周です。



ビート肥料試験圃場

### ② 定期作況調査について

1ヶ月前の情報となりましたが、7月6日に実施した定期作況調査についてご報告いたします。

定期作況調査は作物の状況を調査し、昨年のデータと比較して今年の生育を確認する為の調査です。今年が目立った病害虫の発生は見られませんでした。干ばつによる生育不良や豆類の欠株などが見られました。小麦においては、開花はバラつきがありましたが、穂の実の入りは良さそうな状況でした。

昨年との比較は下記の表をご覧ください。



作況調査の様子

	作物	小麦	大豆	小豆	金時	手亡	てん菜	馬鈴薯	玉ねぎ	長いも	ごぼう	南瓜
平成24年	草丈	88.5	17.4	7.1	13.2	8.4	35.8	40.1	65.1	108.3	24.8	53.1
	葉・段・玉数	8.6	3.4	3.0	2.9	3.1	15.3	15.7	7.7	—	—	—
平成23年	草丈	92.4	20.7	7.1	15.3	13.9	37.9	41.6	56.7	136.8	21.0	108.5
	葉・段・玉数	9.0	3.7	2.8	2.9	3.6	15.1	14.0	6.2	—	—	—

※小麦は段数 馬鈴薯は玉数

### ③ 小麦定点調査について

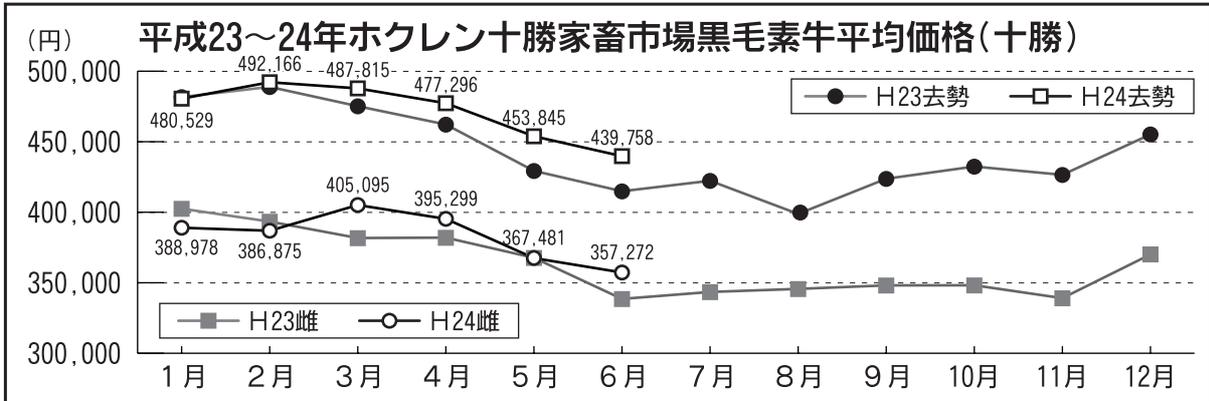
小麦の定点調査は各地区の同一圃場を追跡調査し、調査結果を生産者へ情報提供することによって自分の圃場と比較し、栽培管理の参考にしていただく事を目的として行いました。

今回は最終調査となり、穂数、穂長、稈長の調査を行いました。さらに、小麦の坪刈りを2㎡の範囲で行い、1穂粒数、千粒重、粒口分布の測定を実施いたしました。

結果につきましては9月に小麦栽培研修会が御座いますので、昨年秋からの調査結果も含めた内容でご報告いたします。



# 畜産部通信 畜産部 畜産課



## 6月黒毛素牛出荷区分別成績

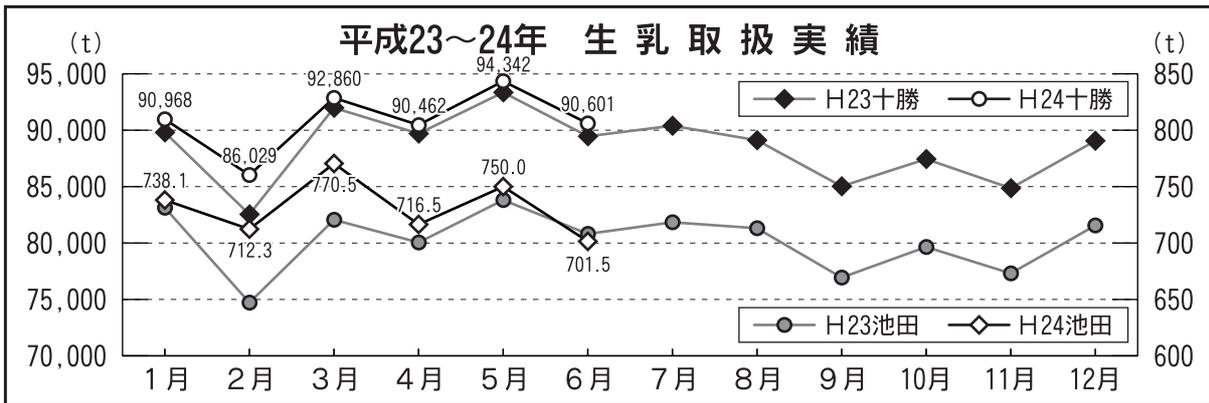
【金額(円)】

去勢	池田	十勝	雌	池田	十勝
和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛
取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数
平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)
参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率

## 6月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
9日	黒毛去勢	A-5	1,721
		A-4	1,536
		A-3	1,399
	黒毛メス	A-5	1,803
		A-4	1,570
		A-3	1,380
	F1去勢	B-3	1,018
		B-2	1,002
	F1メス	B-3	1,019
B-2		961	



## 6月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
5日	乳牛育成	375	272,840
7日	乳牛初妊	569	502,802
	乳牛経産	88	302,066

## 6月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	48,766
F1オス初生	138,888
F1メス初生	75,943
廃用牛	107,432

## ▶ 十勝和牛マニュアル牛の取組み状況について

平成23年6月肉牛市場より本取組が開始され、早いもので1年が経過致しました。  
取組開始から現在までの状況について、下記の通りご報告致します。

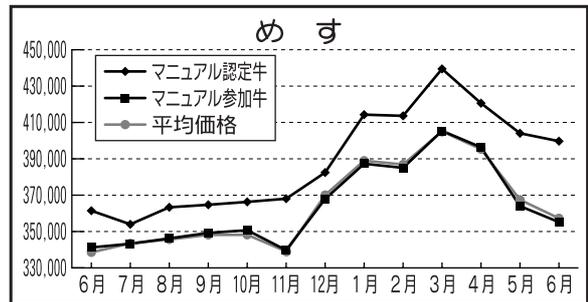
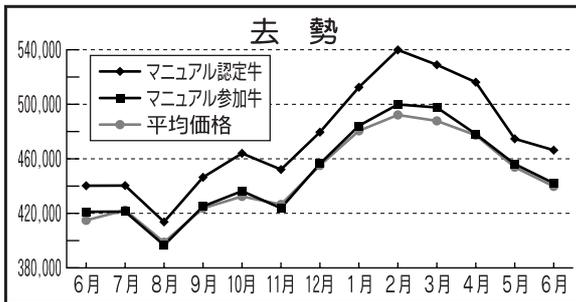
### 基本構想

- ◎生後3ヵ月までスターターをしっかり給与することで、第一胃をつくる。
- ◎豊富な良質粗飼料（乾草）、適量の配合飼料をバランス良く給与することで、肋張りが良く、骨格がしっかりとした収益性の高い子牛を作る。
- ◎快適な飼養環境（新鮮な水、清潔な飼槽・敷料）の下で健康な子牛を育てる。

### 取組経過

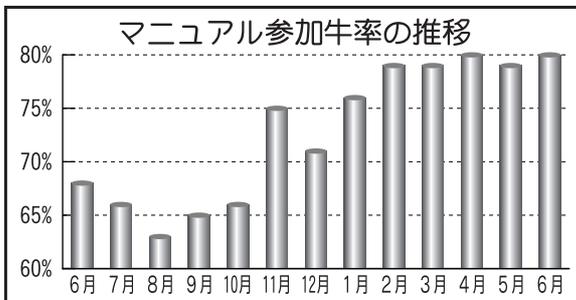
- ・平成23年6月肉牛市場より、マニュアル牛として上場開始。（認定額章の装着、セリ時マイク公表）  
【マニュアル参加牛】＝ マニュアルに沿って飼養された素牛  
【マニュアル認定牛】＝ 参加牛のうち、認定条件をクリアした素牛
- ・マニュアル認定となる和牛専用配合飼料は5社6銘柄にてスタート。  
（取組開始から現在まで、和牛専用配合飼料4社4銘柄が追加認定となり現在9社10銘柄）
- ・8月市場時に担当者目合わせ検討会開催。（ツメの伸び・栄養度判定等）
- ・9月市場より上場牛の繋留方法を統一化。
- ・9月・10月市場場内に試験的に臨時削蹄場を設置。
- ・2月「十勝和牛素牛商品価値向上対策」リーフレットの配布。（削蹄・早めの搬入・ブラッシング）

### 十勝の平均価格推移



- ・平均価格と参加牛価格は、ほぼ同等の推移。認定牛価格は平均価格の2～3万円高で推移。
- ・上場頭数に占める参加牛の割合は開始時33%（H23.6月）であったが、現在62%（H24.6月）まで上昇。
- ・参加牛頭数に占める認定牛の割合は伸びていないのが現状。理由としては目合わせ検討会等により判断基準が明確となったこと等が考えられ、認定率の向上が今後の課題。

### 当JAの取組み状況



#### マニュアル参加生産者戸数の推移(55戸)

取組開始時 …… 42戸（参加率 76%）  
現在 …… 45戸（参加率 82%）

#### マニュアル認定牛とならない主な理由(年間)

1位 …… 日齢超過	219頭
2位 …… DG（体重不足）	104頭
3位 …… 未削蹄	80頭
4位 …… 過肥	7頭
5位 …… 体高不足	4頭

- ・市場上場牛、一年間の平均参加牛率73%。参加生産者戸数、参加牛率ともに増加傾向。
- ・取組開始後、削蹄を行う方が増加したため、「未削蹄」による未認定は減少。

市場評価を高めるため、マニュアル構想に基づいた牛づくりで上場素牛の斉一化を目指しましょう!

## 理事会の動き

### 第5回

〈平成24年7月27日〉

#### ★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 6月末仮決算について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 平成24年度農産物作付面積について
- (6) 農産物の生育状況について
- (7) 職員の懲戒処分について

#### ★ 議案 ★

- (1) 池田町農民同盟に対する分担金の拠出について

#### ★ 協議案 ★

- (1) お盆休業について
- (2) 地区懇談会までの日程について



JAグループ職員・社員養成学校  
大学・短大・専門学校生大歓迎

# JAカレッジ

- 60名 ● 1ヵ年、全寮制
- 高校卒（見込）  
21歳未満男女
- 大学、短大・専門学校卒（見込）  
24歳未満男女
- 試験日：12月10日・  
11日・12日
- 願書受付：9月10日～  
11月12日

JA、JA関連  
会社へ

平成21、22、23年度  
100%就職

お問い合わせ・資料請求

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

(財)北海道農業協同組合学校

(JAカレッジ) ☎ 0120-918-417

<http://www.ja-college.jp/>

いよいよ夏到来ですね。暑い日が続いていますが、夏ハテにはなっていませんか？

さて、7月28日からは小麦の収穫作業が始まりました。小麦が終われば豆や馬鈴薯・長芋と、トントントン拍子で進んでいきますね。収穫作業が終わって一息ついているうちに、あっという間に正月。なんだか学生時代より月日が経つのが早いと感じる、今日この頃です。

また、27日からはオリンピックも始まりました。私の弟と妹が柔道を習っているので、柔道が始まるとテレビに釘付けです。夏休みの宿題は大丈夫なの？と心配する姉でした。

(E)

